

1 概況

ノリ芽は肉眼視できる地区が多くなってきました。先週の東三河地区に続いて西三河地区でも展開が始まっています。知多地区では、半島西岸の一部の漁場で展開が開始されましたが、本格化するのは来週以降となる見込みです。知多西岸地区の北中部及び西三河地区の栄養塩は総じて回復傾向ですが、知多西岸地区の南部から島しょ部を含む知多東岸地区にかけては少ない状況です。一方、東三河地区の栄養塩は、減少傾向で、やや少ない状況となりました。海水温は、直近で平年よりも若干高めの値となっております。気温は来週の前半にかけてかなり高めに推移すると予想されています。潮位は直近で約1号高めに推移しています。入庫に備え、干出は気温、風等に注意を払いながら適切に行ってください。

2 気象・海況

<水温> 11月1日

1~3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	19.7 °C
	平年差	+0.3 °C

<水温> 11月2日

漁生研 (-3.0m)	10時水温	20.6 °C
	平年差	+0.1 °C

<潮位偏差> 11月1日

名古屋港	5日平均※	+6 cm
	偏差	+9 cm

※10月28日~11月1日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	やや多い~少ない ※南部で少ない傾向	なし	植物プランクトンは散見~少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは散見~少ない
西三河地区	多い~やや多い	なし	植物プランクトンはほとんどいない~散見
東三河地区	やや少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121~、やや多い: 81~120、やや少ない: 41~80、少ない: ~40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000~、やや多い: 5,000~10,000、少ない: 1,000~5,000、散見: 100~1,000、ほとんどいない: ~100

<気温動向の予測> (気象庁予報より 予報期間: 11月3日~11月9日)

今後1週間	最高気温は、期間の始めから来週月曜日までは平年よりかなり高く、その後も期間の終わりまで高い日が続くでしょう。最低気温は期間を通じて平年よりも高い日が多い見込みです。
-------	--

3 養殖状況

地区	ノリ芽サイズ	展開	養殖状況
知多西岸地区	肉眼視可(一部除き)	小鈴谷地区のみ展開	一部で網汚れ目立ち始める。
知多東岸地区	肉眼視可(一部除き)	未展開	網汚れは干出で対応。海況は概ね良好。
西三河地区	0.1~3.0mm	展開中(4~10枚)	ノリ芽は概ね良好。
東三河地区	0.1~1.5mm	展開中(5枚)	葉体薄めで、一部で付着珪藻やアオが目立ち始める

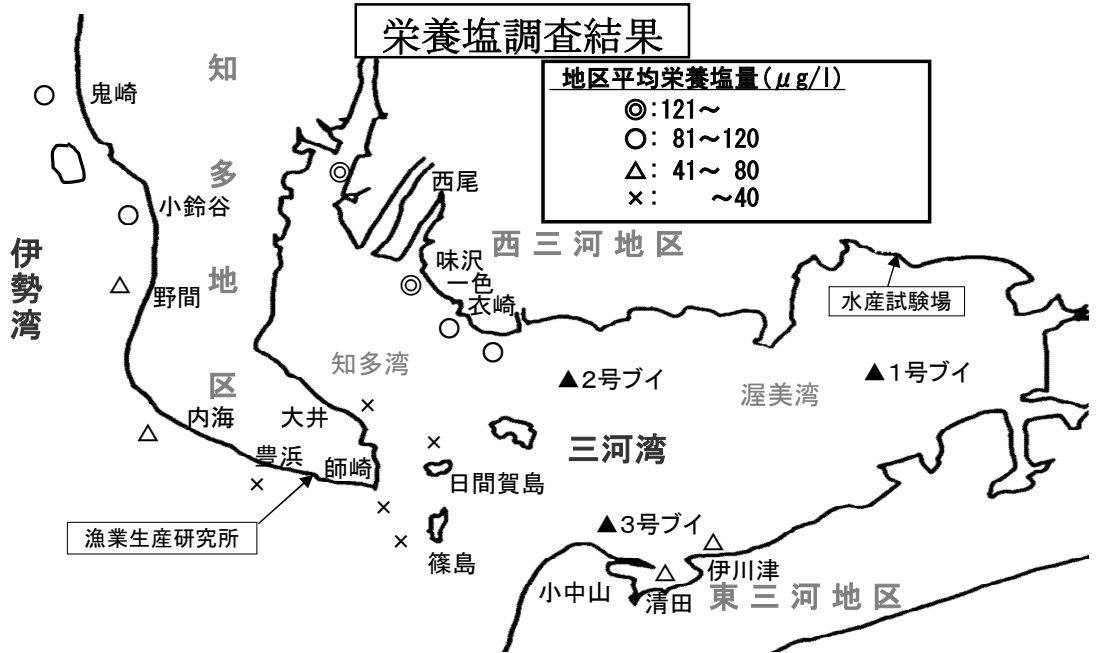
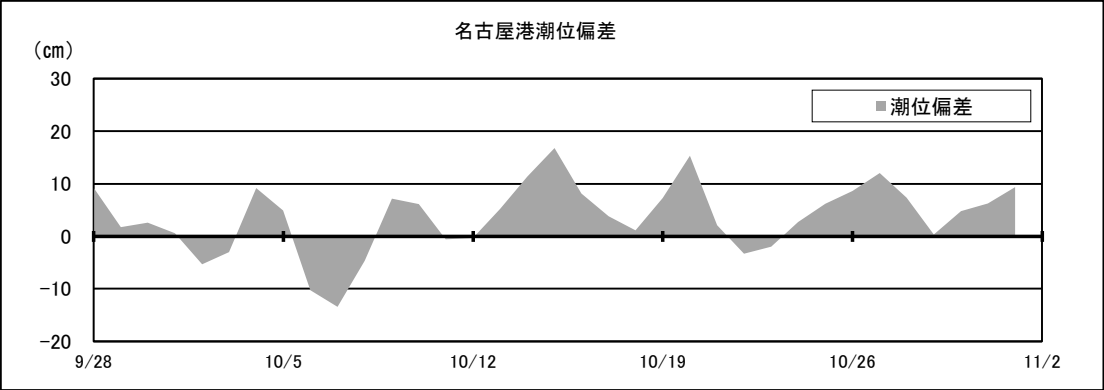
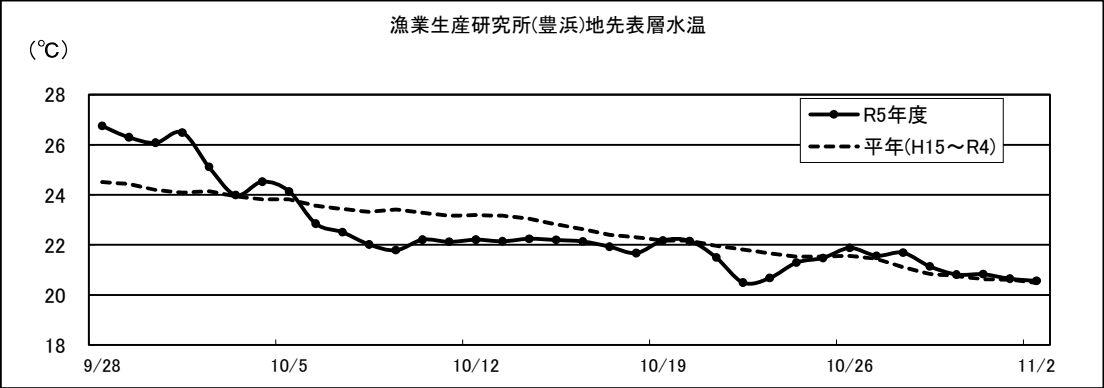
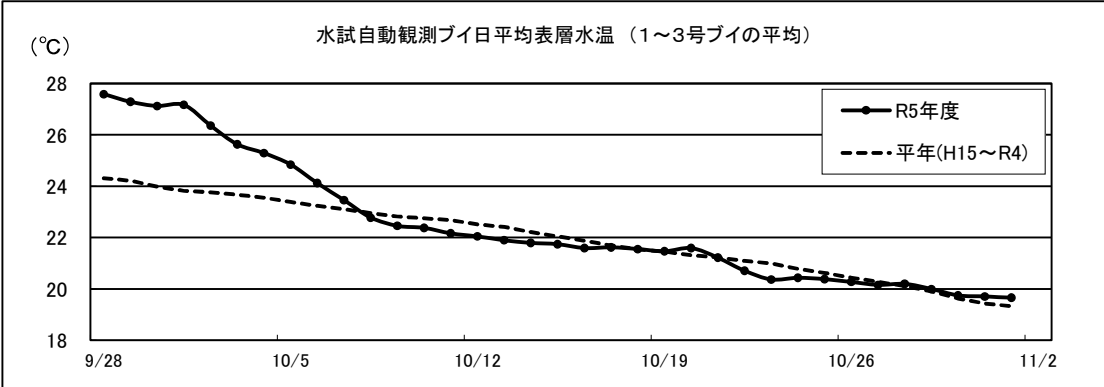
4 今後の管理

- ① 冷蔵入庫前には適正な干出を与え、伸ばしすぎず小芽入庫を心がけ、良質な種網の確保に努めること。
- ② 単張り後は魚類、カモによる食害に留意し、防除網の設置など食害対策を入念に行うこと。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ 次回は11月9日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日: 知多、西三河: 11月2日(木)、東三河: 11月1日(水)
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会